

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-本-003-09
提出年月日	2022年9月8日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料

原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備

(残留熱除去系)

(本文)

2022年9月

中国電力株式会社

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

原子炉冷却系統施設

5. 残留熱除去設備

5.1 残留熱除去系

(2) 熱交換器

常設

- ・残留熱除去系熱交換器

(3) ポンプ

常設

- ・残留熱除去ポンプ

(5) ろ過装置

常設

- ・残留熱除去系ストレーナ

(6) 安全弁及び逃がし弁

常設

(7) 主要弁

常設

(8) 主配管（使用済燃料貯蔵槽の補給及び冷却に用いるものを含む。）

常設

## 5. 残留熱除去設備に係る次の事項

## 5.1 残留熱除去系

- (2) 熱交換器の名称，種類，容量，最高使用圧力（管側及び胴側の別に記載すること。），最高使用温度（管側及び胴側の別に記載すること。），伝熱面積，主要寸法，材料，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

常設

			変更前		変更後	
名 称			残留熱除去系熱交換器		残留熱除去系熱交換器*1,*2	
種 類			たて置U字管式		変更なし	
容 量（設計熱交換量）			MW/個	□以上*3(9.13*4,*5)		
管側	最高使用圧力		MPa	3.92*4		
	最高使用温度		℃	185		
胴側	最高使用圧力		MPa	1.37*4		
	最高使用温度		℃	85		
伝熱面積			m <sup>2</sup> /個	□以上*3(□*5)		
主 要 寸 法	管側	胴内径*6	mm	1800*5		
		鏡板厚さ*7	mm	□*8(50.0*5)		
		鏡板の形状に係る寸法*8	mm	900*5(鏡板の内半径)		
		管台外径(管側入口)*8	mm	400.0*5		
		管台厚さ(管側入口)*8	mm	□(33.3*5)		
	胴側	管台外径(管側出口)*8	mm	400.0*5		
		管台厚さ(管側出口)*8	mm	□(33.3*5)		
		フランジ厚さ*8	mm	170.0*5		
		胴内径*9	mm	1800*5		
		胴板厚さ*10	mm	□*8(16.0*5), □*8(38.0*5)		

(つづき)

				変更前	変更後
主 要 寸 法	胴	鏡板厚さ*11	mm	<input type="text"/> *8(16.0*5)	変更なし
		鏡板の形状に係る寸法*8	mm	1800*5 (鏡板の内面における長径)	
				450*5 (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	側	管台外径(胴側入口)*8	mm	457.2*5	
		管台厚さ(胴側入口)*8	mm	<input type="text/"/> (9.5*5)	
		管台外径(胴側出口)*8	mm	457.2*5	
	法	管台厚さ(胴側出口)*8	mm	<input type="text/"/> (9.5*5)	
		管板厚さ	mm	<input type="text/"/> *8(235.0*5)	
		伝熱管外径	mm	<input type="text/"/> *5	
		伝熱管厚さ	mm	<input type="text/"/> *8( <input type="text/"/> *5)	
高さ*12	mm	6695*5			
材 料	管側	鏡板*13	—	SGV49	
		フランジ*8	—	SFVC2B	
	胴側	胴板*14	—	SGV49	
		鏡板*15	—	SGV49	
	管板	—	SFVC2B*16		
伝熱管	—	SUS304TB			
個	数	—	2		

(つづき)

			変 更 前		変 更 後
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	A-残留熱除去系熱交換器* <sup>3</sup> (A-残留熱除去系)	B-残留熱除去系熱交換器* <sup>3</sup> (B-残留熱除去系)	変 更 な し
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 23800mm* <sup>3</sup>	原子炉建物 EL 23800mm* <sup>3</sup>	
	溢水防護上の区画番号	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		

注記\*1 : A-残留熱除去系交換器は非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (残留熱除去系), 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機代替冷却系) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (原子炉格納容器スプレイ設備 (残留熱除去系 (格納容器冷却モード, サプレッションプール水冷却モード))) と兼用

\*2 : B-残留熱除去系交換器は非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (残留熱除去系), 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機代替冷却系) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (原子炉格納容器スプレイ設備 (残留熱除去系 (格納容器冷却モード, サプレッションプール水冷却モード))), (残留熱代替除去系) と兼用

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : S I 単位に換算したものである。

\*5 : 公称値を示す。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室内半径」と記載

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板厚さ」と記載

\*8 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 昭和 60 年 4 月 27 日付け 59 資庁第 17250 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-1-4-1 残留熱除去系熱交換器の強度計算書」による。

\*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体内径」と記載

\*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体胴板厚さ」と記載

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体鏡板厚さ」と記載

\*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載

- \*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板」と記載
- \*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体胴板」と記載
- \*15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体鏡板」と記載
- \*16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SFVC2B (管側ステンレス鋼クラッド)」と記載

(3) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

常設

		変更前			変更後				
ポンプ	名称	残留熱除去ポンプ			残留熱除去ポンプ*1, *2				
	種類	—	ターボ形			変更なし			
	容量*3	m³/h/個	□以上*4(1218*5)						
	揚程*6	m	□以上*4(98*5)						
	最高使用圧力	MPa	吸込側 1.37*7, *8/吐出側 3.92*7, *8						
	最高使用温度	℃	A, B-残留熱除去ポンプ：185*9, C-残留熱除去ポンプ：100*10			変更なし C-残留熱除去ポンプ：116*11			
	主要寸法	吸込内径*4	mm	480.0*5			変更なし		
		吐出内径*4	mm	336.0*5					
		ケーシング外径*4	mm	1300*5					
		ケーシング厚さ*4	mm	□(19.0*5)					
		高さ*12	mm	6065*5					
	材料	ケーシング	—	□, □			変更なし		
		ケーシングカバー	—	□					
	個数	—	3						
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	A-残留熱除去ポンプ*4 (A-残留熱除去系)	B-残留熱除去ポンプ*4 (B-残留熱除去系)	C-残留熱除去ポンプ*4 (C-残留熱除去系)				
	設置床	—	原子炉建物 EL 1300mm*4	原子炉建物 EL 1300mm*4	原子炉建物 EL 1300mm*4				
	溢水防護上の区画番号	—	—			R-B2F-02N	R-B2F-15N	R-B2F-03N	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—			EL 1644mm 以上	EL 1859mm 以上	EL 1603mm 以上	
原動機	種類	—	誘導電動機			変更なし			
	出力	kW/個	560*5						
	個数	—	3						
	取付箇所	—	ポンプと同じ*4						

注記\*1：A, B-残留熱除去ポンプは非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード，サプレッションプール水冷却モード））と兼用

\*2：C-残留熱除去ポンプは非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）と兼用

\*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*5：公称値を示す。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格揚程」と記載

\*7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「原子炉再循環系との取合点からA-残留熱除去ポンプまで、A-残留熱除去ポンプからA-残留熱除去系熱交換器まで」、「原子炉再循環系との取合点からA-残留熱除去ポンプまで」の分岐点からA-残留熱除去ポンプまで、B-残留熱除去ポンプからB-残留熱除去系熱交換器まで」及び「サプレッションチェンバからC-残留熱除去ポンプまで、C-残留熱除去ポンプから原子炉圧力容器まで」による。

\*8：S I 単位に換算したものである。

\*9：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「原子炉再循環系との取合点からA-残留熱除去ポンプまで、A-残留熱除去ポンプからA-残留熱除去系熱交換器ま

で」及び「「原子炉再循環系との取合点から A-残留熱除去ポンプまで」の分岐点から A-残留熱除去ポンプまで， B-残留熱除去ポンプから B-残留熱除去系熱交換器まで」による。

\*10：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，既工事計画書の主配管「サブプレッションチェンバから C-残留熱除去ポンプまで， C-残留熱除去ポンプから原子炉圧力容器まで」による。

\*11：重大事故等時における使用時の値

\*12：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 60 年 4 月 27 日付け 59 資庁第 17250 号にて認可された工事計画の添付書類「第 3-4-4 図 残留熱除去ポンプ構造図」による。



(5) ろ過装置の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

常設

		変更前			変更後									
名	称	残留熱除去系ストレーナ			残留熱除去系ストレーナ*1, *2, *3									
種	類	—	円錐支持ディスク形			変更なし								
容	量	m <sup>3</sup> /h/組	[ ] 以上 (1218*4)											
最	高	使	用	圧	力	MPa	—	[0.427]*5	変更なし —[0.853]*6, *7					
最	高	使	用	温	度	°C	104							
主 要 寸 法	外	径	mm	[ ]	*4									
	長	さ	mm	[ ]	*4, *8									
	最	小	デ	ィ	ス	ク	セ	ツ	ト	幅	mm	[ ]	*4, *9	
	デ	ィ	ス	ク	間	ギ	ャ	ッ	プ	mm	[ ]	*4		
	ト	ッ	フ	ラ	ン	ジ	外	径	mm	[ ]	*4			
	ボ	ト	ム	ス	ペ	ー	サ	外	径	mm	[ ]	*4		
	コ	ネ	ク	タ	外	径	mm	[ ]	*4					
	コ	ネ	ク	タ	厚	さ	mm	[ ]	*4					
	デ	ィ	ス	ク	セ	ツ	ト	枚	数	—	[ ]			
	据	付	け	角	度	°	[ ], [ ]	*4, *10						
材 料	多	孔	プ	レ	ー	ト	[ ]							
	リ	[ ]												
	コ	ネ	ク	タ	[ ]									
個	数	—	6(3組)*11											
取 付 箇 所	系	統	名	—	A-残留熱除去系ストレーナ 残留熱除去ポンプ A ライン*12 (A1, 2-残留熱除去系)	B-残留熱除去系ストレーナ 残留熱除去ポンプ B ライン*12 (B1, 2-残留熱除去系)	C-残留熱除去系ストレーナ 残留熱除去ポンプ C ライン*12 (C1, 2-残留熱除去系)							
	設	置	床	—	原子炉格納容器 サプレッションチェンバ内*12	原子炉格納容器 サプレッションチェンバ内*12	原子炉格納容器 サプレッションチェンバ内*12							
	溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—			
	溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ

変更なし

注記\*1 : A-残留熱除去系ストレーナは非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (残留熱除去系) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (原子炉格納容器スプレイ設備 (残留熱除去系 (格納容器冷却モード, サプレッションプール水冷却モード))) と兼用

\*2 : B-残留熱除去系ストレーナは非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (残留熱除去系) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (原子炉格納容器スプレイ設備 (残留熱除去系 (格納容器冷却モード, サプレッションプール水冷却モード))), (残留熱代替除去系) と兼用

\*3 : C-残留熱除去系ストレーナは非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (残留熱除去系, 高圧原子炉代替注水系) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (高圧原子炉代替注水系) と兼用

\*4 : 公称値を示す。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「-[427]kPa」と記載

\*6 : 残留熱除去系ストレーナはその機能及び構造上耐圧機能を必要としないため, 最高使用圧力を設定しないが, ここでは, 原子炉格納容器の最高使用圧力を [ ] 内に示す。

\*7 : 重大事故等時における使用時の値

\*8 : 圧損評価長さを示す。

\*9 : ボトムスペーサに接続するディスクセット幅を示す。

\*10 : コネクタを付けたストレーナに対する寸法であり，貫通部軸心から下方に傾けたストレーナ軸心の角度を示し，貫通部番号 X-201 と X-203 については  $45^\circ$  ， X-202 については  $27^\circ$  になる位置に据え付ける。

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には独立した 3 系列を組み合わせた「6」と記載。残留熱除去系ストレーナは，独立した 3 系列のそれぞれで 2 個を 1 組として使用する。

\*12 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

(6) 安全弁及び逃がし弁の名称, 種類, 吹出圧力, 吹出量, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

常設

		変更前	変更後
名 称		RV222-1A, B, C	RV222-1A, B, C <sup>*1, *2, *3</sup>
種 類	—	平衡型	変更なし
吹 出 圧 力	MPa	3.92	
吹 出 量	kg/h/個	<input type="text"/>	
主 要 寸 法	呼 び 径 (A)	25	
	の ど 部 の 径	mm <input type="text"/>	
	弁 座 口 の 径	mm <input type="text"/>	
	リ フ ト	mm <input type="text"/> 以上	
材 料 ( 弁 箱 )	—	<input type="text"/>	
駆 動 方 法	—	—	
個 数	—	3	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	RV222-1A, B <sup>*4</sup> (残留熱除去系)   RV222-1C <sup>*4</sup> (残留熱除去系)
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 8800mm <sup>*4</sup>   原子炉建物 EL 15300mm <sup>*4</sup>
	溢水防護上の区画番号	—	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	

注記\*1: RV222-1A は非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備の安全弁及び逃がし弁 (低圧原子炉代替注水系, 残留熱除去系) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (原子炉格納容器スプレイ設備 (残留熱除去系 (格納容器冷却モード, サプレッションプール水冷却モード))), (格納容器代替スプレイ系, ペDESTAL代替注水系, 残留熱代替除去系, 低圧原子炉代替注水系) と兼用

\*2: RV222-1B は非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備の安全弁及び逃がし弁 (残留熱除去系) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (原子炉格納容器スプレイ設備 (残留熱除去系 (格納容器冷却モード, サプレッションプール水冷却モード))), (残留熱代替除去系) と兼用

\*3: RV222-1C は非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備の安全弁及び逃がし弁 (残留熱除去系) と兼用

\*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

		変更前*	変更後	
名称		RV222-2	変更なし	
種類	—	平衡型		
吹出圧力	MPa	1.37		
吹出量	kg/h/個	<input type="text"/>		
主要寸法	呼び径	(A)		25
	のど部の径	mm		<input type="text"/>
	弁座口の径	mm		<input type="text"/>
	リフト	mm		<input type="text"/> 以上
材料（弁箱）		—		<input type="text"/>
駆動方法		—		—
個数		—		1
取付箇所	系統名 （ライン名）	—		RV222-2（残留熱除去系）
	設置床	—		原子炉建物 EL 8800mm
	溢水防護上の区画番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記\*：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(7) 主要弁の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

常設

		変更前*1		変更後		
名 称		MV222-2A, B		変更なし		
種 類	—	止め弁				
最 高 使 用 圧 力	MPa	3.92*2, *3				
最 高 使 用 温 度	℃	185*2				
主 要 寸 法	呼 び 径	(A)	350			
	弁 箱 厚 さ	mm	□以上			
	弁 ふ た 厚 さ	mm	□以上			
材 料	弁 箱	—	□			
	弁 ふ た	—	□			
駆 動 方 法		—	電気作動			
個 数		—	2			
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	MV222-2A (A-残留熱除去系)			MV222-2B (B-残留熱除去系)
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 15300mm			原子炉建物 EL 15300mm
取 付 箇 所	溢水防護上の区画番号	—				
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—			
			R-1F-30N	R-1F-10N		
			EL 19391mm 以上	EL 17257mm 以上		

注記\*1: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*2: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 既工事計画書の主配管「A-残留熱除去ポンプからA-残留熱除去系熱交換器まで」の分岐点から「A系原子炉再循環系戻り管」の合流点まで, 「B-残留熱除去ポンプからB-残留熱除去系熱交換器まで」の分岐点から「B系原子炉再循環系戻り管」の合流点まで」による。

\*3 : S I 単位に換算したものである。

		変更前*1		変更後			
名 称		MV222-3A, B		変更なし			
種 類	—	止め弁					
最 高 使 用 圧 力	MPa	3.92*2, *3					
最 高 使 用 温 度	℃	185*2					
主 要 寸 法	呼 び 径	(A)	350				
	弁 箱 厚 さ	mm	□以上				
	弁 ふ た 厚 さ	mm	□以上				
材 料	弁 箱	—	□				
	弁 ふ た	—	□				
駆 動 方 法		—	電気作動				
個 数		—	2				
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	MV222-3A (A-残留熱除去系)			MV222-3B (B-残留熱除去系)	
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 23800mm			原子炉建物 EL 15300mm	
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	溢水防護上の区画番号	—				R-2F-14N	R-1F-12N
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—		EL 24128mm 以上	EL 20005mm 以上	

注記\*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「A系低圧注入管」の分岐点から原子炉格納容器スプレイヘッドまで、「B系低圧注入管」の分岐点から原子炉格納容器スプレイヘッドまで」による。

\*3：S I 単位に換算したものである。

		変更前		変更後			
名称 <sup>*1</sup>		MV222-4A, B <sup>*2</sup>		変更なし			
種類	—	止め弁					
最高使用圧力	MPa	3.92 <sup>*3, *4</sup>					
最高使用温度	℃	185 <sup>*3</sup>					
主要寸法	呼び径	(A)	350				
	弁箱厚さ <sup>*5</sup>	mm	□以上				
	弁ふた厚さ <sup>*5</sup>	mm	□以上				
材料	弁箱	—	□				
	弁ふた	—	□				
駆動方法		—	電気作動				
個数		—	2				
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	MV222-4A <sup>*5</sup> (A-残留熱除去系)			MV222-4B <sup>*5</sup> (B-残留熱除去系)	
	設置床	—	原子炉建物 EL 23800mm <sup>*5</sup>			原子炉建物 EL 15300mm <sup>*5</sup>	
箇所	溢水防護上の区画番号	—	—		R-2F-14N		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—		EL 24128mm 以上		
					R-1F-12N		
					EL 20005mm 以上		

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「MV222-4」と記載

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「A系低圧注入管」の分岐点から原子炉格納容器スプレイヘッドまで、「B系低圧注入管」の分岐点から原子炉格納容器スプレイヘッドまで」による。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。



		変更前			変更後			
名	称*1	MV222-5A, B, C*2			変更なし			
種	類	—	止め弁					
最	高 使 用 圧 力	MPa	8.62*3, *4					
最	高 使 用 温 度	℃	302*3					
主	呼 び 径	(A)	250					
	弁 箱 厚 さ*5	mm	□以上					
	弁 ふ た 厚 さ*5	mm	□以上					
材	弁 箱	—	□					
	弁 ふ た	—	□					
	弁 体*5	—	□					
駆	動 方 法	—	電気作動					
個	数	—	3					
取	系 統 名	—	MV222-5A*5 (A-残留熱除去系)	MV222-5B*5 (B-残留熱除去系)				MV222-5C*5 (C-残留熱除去系)
	( ラ イ ン 名 )	—						
付	設 置 床	—	原子炉建物 EL 15300mm*5	原子炉建物 EL 23800mm*5	原子炉建物 EL 23800mm*5			
	溢水防護上の区画番号	—						
箇	溢水防護上の	—						
	配慮が必要な高さ	—						
				R-1F-07-2N	R-2F-15N	R-2F-15N		
				EL 20641mm 以上	EL 24042mm 以上	EL 24042mm 以上		

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「MV222-5」と記載

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「原子炉压力容器頂部スプレイ管」の分岐点から原子炉压力容器まで、「B系原子炉再循環系戻り管」の分岐点から原子炉压力容器まで」による。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後											
名	称 <sup>*1</sup>		MV222-6	変更なし											
種	類	—	止め弁												
最	高	使	用		圧	力	MPa	8.62 <sup>*2, *3</sup>							
最	高	使	用		温	度	℃	302 <sup>*2</sup>							
主	呼	び	径		(A)	450									
	弁	箱	厚		さ <sup>*4</sup>	mm	<input type="text"/> 以上								
	弁	ふ	た		厚	さ <sup>*4</sup>	mm	<input type="text"/> 以上							
材	弁	箱	—		<input type="text"/>										
	弁	ふ	た		—	<input type="text"/>									
	弁	体 <sup>*4</sup>	—		<input type="text"/>										
駆	動	方	法		—	電気作動									
個	数	—	1												
取	系	統	名		—	MV222-6 <sup>*4</sup> (残留熱除去系)									
	(	ラ	イ		ン		名)								
	設	置	床	—	原子炉格納容器内 EL 8800mm <sup>*4</sup>										
	溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—				
所	溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「原子炉再循環系との取合点から A-残留熱除去ポンプまで」による。

\*3：S I 単位に換算したものである。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前		変更後	
名		称*1	MV222-7	MV222-7*2	
種	類	—	止め弁	変更なし	
最高使用圧力		MPa	8.62*3, *4		
最高使用温度		℃	302*3		
主要寸法	呼び径	(A)	450		
	弁箱厚さ*5	mm	<input type="text"/> 以上		
	弁ふた厚さ*5	mm	<input type="text"/> 以上		
材料	弁箱	—	<input type="text"/>		
	弁ふた	—	<input type="text"/>		
	弁体*5	—	<input type="text"/>		
駆動方法		—	電気作動		
個数		—	1		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	MV222-7*5 (残留熱除去系)		
	設置床	—	原子炉建物 EL 8800mm*5		
箇所	溢水防護上の区画番号	—	—	R-B2F-31N	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		EL 8708mm 以上	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：新たに原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲となる。

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「原子炉再循環系との取合点から A-残留熱除去ポンプまで」による。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前		変更後			
名 称*1		MV222-11A, B*2		MV222-11A, B*3			
種 類	—	止め弁		変更なし			
最 高 使 用 圧 力	MPa	10.4*4, *5					
最 高 使 用 温 度	℃	302*4					
主 要 寸 法	呼 び 径	(A)	250				
	弁 箱 厚 さ*6	mm	□以上				
	弁 ふ た 厚 さ*6	mm	□以上				
材 料	弁 箱	—	□				
	弁 ふ た	—	□				
	弁 体*6	—	□				
駆 動 方 法		—	電気作動				
個 数		—	2				
取 付	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	MV222-11A*6 (A-残留熱除去系)			MV222-11B*6 (B-残留熱除去系)	
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 8800mm*6			原子炉建物 EL 8800mm*6	
箇 所	溢水防護上の区画番号	—	—			R-B2F-31N	R-B2F-31N
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			EL 8708mm 以上	EL 8708mm 以上	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「MV222-11」と記載

\*3：新たに原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲となる。

- \*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「A-残留熱除去系熱交換器から原子炉再循環系との取合点まで、B-残留熱除去系熱交換器から原子炉再循環系との取合点まで」による。
- \*5 : S I 単位に換算したものである。
- \*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後													
名		称*1	MV222-13	変更なし													
種	類	—	止め弁														
最	高	使用	圧		力												
MPa	8.62*2, *3																
最	高	使用	温		度												
°C	302*2																
主 要 寸 法	呼	び	径		(A)	100											
	弁	箱	厚		さ*4	mm	<input type="text"/> 以上										
	弁	ふ	た		厚	さ*4	mm	<input type="text"/> 以上									
材 料	弁	箱	—		<input type="text"/>												
	弁	ふ	た		—	<input type="text"/>											
駆		動	方		法	—	電気作動										
個		数	—		1												
取 付 箇 所	系	統	名		—	MV222-13*4 (残留熱除去系)											
	(	ラ	イ	ン	名)												
	設	置	床	—	原子炉建物 EL 23800mm*4												
	溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—		R-2F-14N				
	溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—		EL 24128mm 以上

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「A系原子炉再循環系戻り管」の分岐点から原子炉压力容器頂部まで」による。

\*3：S I 単位に換算したものである。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前		変更後	
名		称*1	MV222-14	MV222-14*2	
種類		—	止め弁	変更なし	
最高使用圧力		MPa	8.62*3, *4		
最高使用温度		℃	302*3		
主要寸法	呼び径	(A)	100		
	弁箱厚さ*5	mm	<input type="text"/> 以上		
	弁ふた厚さ*5	mm	<input type="text"/> 以上		
材料	弁箱	—	<input type="text"/>		
	弁ふた	—	<input type="text"/>		
	弁体*5	—	<input type="text"/>		
駆動方法		—	電気作動		
個数		—	1		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	MV222-14*5 (残留熱除去系)		
	設置床	—	原子炉格納容器内 EL 23800mm*5		
	溢水防護上の区画番号	—	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：新たに原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲となる。

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「A系原子炉再循環系戻り管」の分岐点から原子炉圧力容器頂部まで」による。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変 更 前		変 更 後		
名 称* <sup>1</sup>		MV222-15A, B* <sup>2</sup>		変 更 な し		
種 類		— 止め弁				
最 高 使 用 圧 力		MPa	3.92* <sup>3</sup> , * <sup>4</sup>			
最 高 使 用 温 度		℃	185* <sup>3</sup>			
主 要 寸 法	呼 び 径	(A)	250			
	弁 箱 厚 さ* <sup>5</sup>	mm	<input type="text"/> 以上			
	弁 ふ た 厚 さ* <sup>5</sup>	mm	<input type="text"/> 以上			
材 料	弁 箱	—	<input type="text"/>			
	弁 ふ た	—	<input type="text"/>			
駆 動 方 法		—	電気作動			
個 数		—	2			
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	MV222-15A* <sup>5</sup> (A-残留熱除去系)			MV222-15B* <sup>5</sup> (B-残留熱除去系)
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 8800mm* <sup>5</sup>			原子炉建物 EL 15300mm* <sup>5</sup>
簡 所	溢水防護上の区画番号	—		R-B2F-31N	R-1F-10N	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	EL 8708mm 以上	EL 17257mm 以上	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「MV222-15」と記載

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「A系原子炉再循環系戻り管」の分岐点からサブプレッションチェンバ内の放出管まで、「B系原子炉格納容器スプレイ管」の分岐点からサブプレッションチェンバ内の放出管まで」による。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。



		変更前		変更後		
名称*1		MV222-16A, B*2		変更なし		
種類		— 止め弁				
最高使用圧力		MPa	3.92*3, *4			
最高使用温度		℃	185*3			
主要寸法	呼び径	(A)	100			
	弁箱厚さ*5	mm	□以上			
	弁ふた厚さ*5	mm	□以上			
材料	弁箱	—	□			
	弁ふた	—	□			
駆動方法		—	電気作動			
個数		—	2			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	MV222-16A*5 (A-残留熱除去系)			MV222-16B*5 (B-残留熱除去系)
	設置床	—	原子炉建物 EL 8800mm*5			原子炉建物 EL 8800mm*5
箇所	溢水防護上の区画番号	—		R-B2F-31N	R-B2F-31N	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	EL 8708mm 以上	EL 8708mm 以上	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「MV222-16」と記載

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「A系原子炉再循環系戻り管」の分岐点からサブプレッションチェンバस्पレイヘッダまで、「B系再循環系戻り管」の分岐点からサブプレッションチェンバस्पレイヘッダまで」による。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前			変更後			
名称 <sup>*1</sup>		AV222-1A, B, C <sup>*2</sup>			変更なし			
種類	類	—	逆止め弁					
最高使用圧力	MPa	8.62 <sup>*3, *4</sup>						
最高使用温度	℃	302 <sup>*3</sup>						
主要寸法	呼び径	(A)	250					
	弁箱厚さ <sup>*5</sup>	mm	□以上					
	弁ふた厚さ <sup>*5</sup>	mm	□以上					
材料	弁箱	—	□					
	弁ふた	—	□ (□)					
	弁体 <sup>*5</sup>	—	□ (□)					
駆動方法		—	窒素作動					
個数		—	3					
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	AV222-1A <sup>*5</sup> (A-残留熱除去系)	AV222-1B <sup>*5</sup> (B-残留熱除去系)				AV222-1C <sup>*5</sup> (C-残留熱除去系)
	設置床	—	原子炉格納容器内 EL 15300mm <sup>*5</sup>	原子炉格納容器内 EL 23800mm <sup>*5</sup>				原子炉格納容器内 EL 15300mm <sup>*5</sup>
	溢水防護上の区画番号	—	—					
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—						

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「AV222-1」と記載

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「原子炉压力容器頂部スプレイ管」の分岐点から

原子炉压力容器まで、「B系原子炉再循環系戻り管」の分岐点から原子炉压力容器まで」による。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前		変更後	
名	称*1	AV222-3A, B*2		変更なし	
種	類	—	逆止め弁		
最	高 使 用 圧 力	MPa	10.4*3, *4		
最	高 使 用 温 度	℃	302*3		
主 要 寸 法	呼 び 径	(A)	250		
	弁 箱 厚 さ*5	mm	□以上		
	弁 ふ た 厚 さ*5	mm	□以上		
材 料	弁 箱	—	□		
	弁 ふ た	—	□ (□)		
	弁 体*5	—	□ (□)		
駆 動 方 法	—	窒素作動			
個 数	—	2			
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	AV222-3A*5 (A-残留熱除去系)		AV222-3B*5 (B-残留熱除去系)
	設 置 床	—	原子炉格納容器内 EL 8800mm*5		原子炉格納容器内 EL 8800mm*5
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「AV222-3」と記載

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「A-残留熱除去系熱交換器から原子炉再循環系との取合点まで、B-残留熱除去系熱交換器から原子炉再循環系との取合点まで」による。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前*1		変更後
名称		V222-7		変更なし
種類	—	逆止め弁		
最高使用圧力	MPa	8.62*2, *3		
最高使用温度	℃	302*2		
主要寸法	呼び径	(A)	100	
	弁箱厚さ	mm	<input type="text"/> 以上	
	弁ふた厚さ	mm	<input type="text"/> 以上	
材料	弁箱	—	<input type="text"/>	
	弁ふた	—	<input type="text"/>	
	弁体	—	<input type="text"/>	
駆動方法		—	—	
個数		—	1	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	V222-7 (残留熱除去系)	
	設置床	—	原子炉格納容器内 EL 34800mm	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記\*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「A系原子炉再循環系戻り管」の分岐点から原子炉压力容器頂部まで」による。

\*3：S I 単位に換算したものである。

(8) 主配管（使用済燃料貯蔵槽の補給及び冷却に用いるものを含む。）の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し，可搬型の場合は，個数及び取付箇所を付記すること。）  
常設

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
残留熱除去系	停止時冷却モード入口ライン分岐部 ～ 弁MV222-6*2	8.62*3	302	457.2	29.4*1	SUS316TP	変更なし	8.98*4	304*4	変更なし	変更なし	
				457.2*5	34.9*1, *5	SUS316TP*5						
				457.2	29.4*1	STS42						
				457.2*5	34.9*1, *5	STS42*5						
	弁MV222-6 ～ 弁MV222-7*2	8.62*3	302	457.2	29.4*1	STS42	弁MV222-6 ～ 弁MV222-7*6	8.98*4	304*4	変更なし	変更なし	変更なし
	弁MV222-7 ～ B-停止時冷却モード入口ライン分岐部*2	1.37*3	185	558.8	□*7(9.5*1)	SM41C	変更なし	8.98*4	304*4	変更なし	変更なし	変更なし
				/457.2	□*7(9.5*1)	SM41C						
				558.8	□*7(9.5*1)	SM41C						
				558.8*5	9.5*1, *5	STPT42*5						
	B-停止時冷却モード入口ライン分岐部 ～ A-燃料プール冷却入口ライン合流部*2	1.37*3	185	568.4	□*7(14.3*1)	SM41C	変更なし	8.98*4	304*4	変更なし	変更なし	変更なし
				558.8	□*7(9.5*1)	SM41C						
				558.8	□*7(9.5*1)	SM41C						
				/406.4	□*7(9.5*1)	SM41C						
	A-燃料プール冷却入口ライン合流部 ～ A-停止時冷却モード入口ライン合流部*2	1.37*3	185	406.4	9.5*1	STPT42	変更なし	8.98*4	304*4	変更なし	変更なし	変更なし
				406.4*5	9.5*1, *5	STPT42*5						
				406.4	12.7*1	STPT42						
				/216.3*8	/12.7*1	STPT42						
	A-停止時冷却モード入口ライン合流部 ～ A-残留熱除去ポンプ*2	1.37*3	185	406.4	□*7(9.5*1)	SM41C	A-停止時冷却モード入口ライン合流部 ～ A-残留熱除去ポンプ*9	8.98*4	304*4	変更なし	変更なし	変更なし
				416.0	□*7(14.3*1)	SM41C						
				517.6	□*7(14.3*1)	SM41C						
				508.0	□*7(9.5*1)	SM41C						
				508.0*5	9.5*1, *5	STPT42*5						

変更前						変更後																																
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料																											
残留熱除去系	弁V222-10 ～ 燃料プール冷却入口ライン合流部*8	1.37*3	66	216.3	8.2	STPT410	残留熱除去系	変更なし																														
				216.3	8.2	STPT42																																
	燃料プール冷却入口ライン合流部 ～ A-燃料プール冷却入口ライン合流部*8	1.37*3	66	216.3	8.2	STPT42						変更なし																										
				185	216.3	8.2											STPT42																					
				216.3*5	8.2*5	STPT42*5																																
	燃料プール冷却入口ライン合流部 ～ 残留熱代替除去ポンプ入口ライン 分岐部*8	1.37*3	66	216.3	8.2	STPT42											変更なし																					
				185	216.3	8.2																STPT42																
				216.3	8.2	STPT410																																
	残留熱代替除去ポンプ入口ライン 分岐部 ～ B-燃料プール冷却入口ライン合流部*8	1.37*3	185	—																		変更なし					216.3 /216.3 /216.3 8.2 /8.2 /8.2 STPT410											
				216.3	8.2	STPT42																																
				216.3*5	8.2*5	STPT42*5																						変更なし										
	A-残留熱除去ポンプ ～ A-残留熱除去系熱交換器バイパス ライン分岐部*11	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42																											変更なし					
				355.6*5	19.0*5	STS42*5																																
				355.6	19.0	STS42																																
	/355.6			/19.0	STS42																																	
	/—			/—	STS42																																	
	355.6	19.0	STS42																																			
	/355.6	/19.0	STS42																																			
	/355.6	/19.0	STS42																																			
A-残留熱除去系熱交換器バイパス ライン分岐部 ～ A-残留熱除去系熱交換器*11	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	変更なし																																
			355.6*5	19.0*5	STS42*5																																	

変更前						変更後							
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料		
残留熱除去系	A-残留熱除去系熱交換器 ～ A-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部*12, *13	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	A-残留熱除去系熱交換器 ～ A-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部*9	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	
				355.6*5	19.0*5	STS42*5							変更なし
	A-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部 ～ A-停止時冷却戻りライン分岐部*12, *13	3.92*3	185	355.6	19.0	STS42	A-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部 ～ A-停止時冷却戻りライン分岐部*9	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	変更なし
				/355.6	/19.0	STS42							
				355.6*5	19.0*5	STS42*5							
	A-停止時冷却戻りライン分岐部 ～ A-サプレッションプール冷却ライン分岐部*12, *13	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	A-停止時冷却戻りライン分岐部 ～ A-サプレッションプール冷却ライン分岐部*14	3.92*3	185	355.6	19.0	STS42	変更なし
				355.6*5	19.0*5	STS42*5							
				/355.6	/19.0	STS42							
				/355.6	/19.0								



変更前						変更後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
残留熱除去系	A-サプレッション プール冷却ライン 分岐部 ～ A-サプレッション チェンバスプレ イライン分岐部*12, *13	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	残留熱除去系	A-サプレッション プール冷却ライン 分岐部 ～ A-サプレッション チェンバスプレ イライン分岐部*15	変更なし			
				355.6 /355.6 /216.3	19.0 /19.0 /12.7	STS42						
	A-サプレッション チェンバスプレ イライン分岐部 ～ 弁MV222-11A*12, *13	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42		変更なし				
				355.6 /355.6 /—	19.0 /19.0 /—	STS42						
355.6 /267.4	19.0 /15.1	STS42	変更なし									
弁MV222-11A ～ 弁AV222-3A*12, *13	10.4*3	302					267.4	18.2	STS42	弁MV222-11A ～ 弁AV222-3A*6	変更なし	変更なし 304*4

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
3-1-78 残留熱除去系	弁AV222-3A ～ A-停止時冷却モード戻りライン合流部 *12, *13	10.4*3	302	267.4	18.2*1	STS42	変更なし	変更なし 304*4	変更なし	変更なし	変更なし	
				267.4	18.2*1	SUS316TP						
	B-停止時冷却モード入口ライン分岐部 ～ B-燃料プール冷却入口ライン合流部*16, *17	1.37*3	185	416.0	<input type="checkbox"/> *7(14.3*1)	SM41C	残留熱除去系	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
				406.4	<input type="checkbox"/> *7(9.5*1)	SM41C						
				406.4	9.5*1	STPT42						
				406.4*5	9.5*1, *5	STPT42*5						
	B-燃料プール冷却入口ライン合流部 ～ B-停止時冷却モード入口ライン合流部*16, *17	1.37*3	185	406.4 /406.4 /216.3*8	12.7*1 /12.7*1 /8.2*1, *8	STPT42	B-燃料プール冷却入口ライン合流部 ～ B-停止時冷却モード入口ライン合流部*10	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
				406.4	<input type="checkbox"/> *7(9.5*1)	SM41C						
				416.0	<input type="checkbox"/> *7(14.3*1)	SM41C						

変更前						変更後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	
残留熱除去系	B-停止時冷却モード入口ライン合流部 ～ B-残留熱除去ポンプ*16, *17	1.37*3	185	517.6	□*7(14.3*1)	SM41C	B-停止時冷却モード入口ライン合流部 ～ B-残留熱除去ポンプ*9	1.37*3	185	517.6	□*7(14.3*1)	SM41C
				508.0	□*7(9.5*1)	SM41C						
				508.0*5	9.5*1, *5	STPT42*5						
	B-残留熱除去ポンプ ～ 残留熱代替除去ポンプ注水ライン合流部*18	3.92*3	185	355.6	15.1*1	STS42	B-残留熱除去ポンプ ～ 残留熱代替除去ポンプ注水ライン合流部*9	3.92*3	185	355.6	15.1*1	STS42
				355.6*5	19.0*1, *5	STS42*5						
				355.6 /355.6 /—	19.0*1 /19.0*1 /—	STS42						
	残留熱代替除去ポンプ注水ライン合流部 ～ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部*18	3.92*3	185	355.6	19.0*1	STS42	残留熱代替除去ポンプ注水ライン合流部 ～ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部*19	3.92*3	185	355.6	19.0*1	STS42
				/355.6	/19.0*1	STS42						
				/—	/—	STS42						
				355.6*5	19.0*1, *5	STS42*5						
	B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部 ～ B-残留熱除去系熱交換器*18	3.92*3	185	355.6	15.1*1	STS42	B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部 ～ B-残留熱除去系熱交換器*19	3.92*3	185	355.6	15.1*1	STS42
				355.6	19.0*1	STS42						
				355.6 /355.6 /19.0*1 /355.6 /19.0*1	19.0*1 /19.0*1 /— /19.0*1 /19.0*1	STS42						
	B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部 ～ B-残留熱除去系熱交換器*18	3.92*3	185	355.6	15.1*1	STS42	B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部 ～ B-残留熱除去系熱交換器*19	3.92*3	185	355.6	15.1*1	STS42
355.6*5				19.0*1, *5	STS42*5							
B-残留熱除去系熱交換器 ～ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部*20, *21	3.92*3	185	355.6	15.1*1	STS42	B-残留熱除去系熱交換器 ～ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部*19	3.92*3	185	355.6	15.1*1	STS42	
			355.6*5	19.0*1, *5	STS42*5							
B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部 ～ B-低圧注水ライン分岐部*20, *21	3.92*3	185	355.6	19.0*1	STS42	B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部 ～ B-低圧注水ライン分岐部*19	3.92*3	185	355.6	19.0*1	STS42	
			/355.6	/19.0*1	STS42							
			/355.6	/19.0*1	STS42							
			355.6*5	19.0*1, *5	STS42*5							
B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部 ～ B-低圧注水ライン分岐部*20, *21	3.92*3	185	355.6	19.0*1	STS42	B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部 ～ B-低圧注水ライン分岐部*19	3.92*3	185	355.6	19.0*1	STS42	
			/355.6	/19.0*1	STS42							
			/355.6	/19.0*1	STS42							

変更前						変更後								
名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
残留熱 除去系	B-低圧注水ライン分岐部 ～ B-サプレッションチェンバスプレイライン分岐部*20, *21	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	B-低圧注水ライン分岐部 ～ B-サプレッションチェンバスプレイライン分岐部*15						変更なし	
				355.6*5	19.0*5	STS42*5								
				355.6 /355.6 /216.3	19.0 /19.0 /12.7	STS42								
	B-サプレッションチェンバスプレイライン分岐部 ～ 弁MV222-11B*20, *21	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42								変更なし
				355.6*5	19.0*5	STS42*5								
				355.6 /355.6 /— 355.6 /267.4	19.0 /19.0 /— 19.0 /15.1	STS42  STS42								
	弁MV222-11B ～ 弁AV222-3B*20, *21	10.4*3	302	267.4	18.2	STS42	弁MV222-11B ～ 弁AV222-3B*6	変更なし	変更なし 304*4	変更なし				
	弁AV222-3B ～ B-停止時冷却モード 戻りライン合流部 *20, *21	10.4*3	302	267.4	18.2	STS42	変更なし	変更なし 304*4	変更なし					
	267.4	18.2	SUS316TP											

残留熱  
除去系

変更前						変更後					
名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
残留熱除去系	A-停止時冷却戻りライン分岐部 ～ A-燃料プール冷却ライン分岐部 *22, *23	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	A-停止時冷却戻りライン分岐部 ～ A-燃料プール冷却ライン分岐部*24	変更なし			
	355.6 /355.6 /216.3*8			19.0 /19.0 /12.7*8							
	A-燃料プール冷却ライン分岐部 ～ 原子炉压力容器ヘッドスプレイラ イン分岐部*22, *23	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	A-燃料プール冷却ライン分岐部 ～ 原子炉压力容器ヘッドスプレイラ イン分岐部*24	変更なし			
	355.6 /355.6 /216.3			19.0 /19.0 /12.7							
	原子炉压力容器ヘッドスプレイラ イン分岐部 ～ 弁MV222-14*22, *23	3.92*3	185	216.3	12.7	STPT42	変更なし				
	/114.3			/8.6	STPT42						
	114.3*5			8.6*5	STPT42*5						
	114.3 /114.3 /—			8.6 /8.6 /—	STPT42						
	弁MV222-14 ～ 弁V222-7*22, *23	8.62*3	302	114.3	11.1	STPT42	弁MV222-14 ～ 弁V222-7*6	変更なし			
	弁V222-7 ～ 原子炉压力容器*22, *23	8.62*3	302	114.3	11.1	STS42					
	165.2 /114.3			14.3 /11.1	STS42						
	A-燃料プール冷却ライン分岐部 ～ B-燃料プール冷却ライン合流部*8	3.92*3	185	216.3	10.3	STPT42	変更なし				
	216.3*5			12.7*5	STPT42*5						
	B-燃料プール冷却ライン合流部 ～ 弁V222-13*8	3.92*3	185	216.3	12.7	STPT42	変更なし				
/216.3	/12.7			STPT42							
216.3	10.3			STPT42							
216.3 /216.3 /—	12.7 /12.7 /—			STPT410							

変更前						変更後							
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚  さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚  さ*1 (mm)	材 料		
残留熱除去系	A-残留熱除去系ストレーナ ～ A-停止時冷却モード入口ライン合 流部*25	0.427  104	508.0	15.1*1	STS42	残留熱除去系	A-残留熱除去系ストレーナ ～ A-停止時冷却モード入口ライン合 流部*9	変更なし 0.853*4	変更なし 178*4	変 更 な し			
			/508.0	/15.1*1									
			508.0	9.5*1, *5	SM41C								
	1.37*3	185	508.0	9.5*1, *5	SM41C		変更なし	変更なし	変更なし	変 更 な し			
			508.0*5	9.5*1, *5	STPT42*5								
			517.6	9.5*1, *5	SM41C								
	A-残留熱除去系熱交換器バイパス ライン分岐部 ～ A-残留熱除去系熱交換器バイパス ライン合流部*26	3.92*3	185	355.6	15.1*1		STS42	A-残留熱除去系熱交換器バイパス ライン分岐部 ～ A-残留熱除去系熱交換器バイパス ライン合流部*27	変 更 な し				
	原子炉圧力容器ヘッドスプレイラ イン分岐部 ～ A-原子炉圧力容器注入ライン分岐 部*28, *29	3.92*3	185	355.6*5	19.0*1, *5		STS42*5	原子炉圧力容器ヘッドスプレイラ イン分岐部 ～ A-原子炉圧力容器注入ライン分岐 部*24	変 更 な し				
355.6				15.1*1	STS42								
A-原子炉圧力容器注入ライン分岐 部*28, *29	3.92*3	185	355.6	19.0*1	STS42	A-原子炉圧力容器注入ライン分岐 部*30	変 更 な し						
A-原子炉圧力容器注入ライン分岐 部 ～ 低圧原子炉代替注水ポンプ注水ラ イン合流部*28, *29	3.92*3	185	355.6	15.1*1	STS42	A-原子炉圧力容器注入ライン分岐 部 ～ 低圧原子炉代替注水ポンプ注水ラ イン合流部*31	変 更 な し						
			355.6*5	19.0*1, *5	STS42*5								
低圧原子炉代替注水ポンプ注水ラ イン合流部*28, *29	3.92*3	185	355.6	19.0*1	STS42	低圧原子炉代替注水ポンプ注水ラ イン合流部*32	変更なし		355.6 /355.6 /216.3	19.0 /19.0 /12.7	変 更 な し		

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 度 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 度 (mm)	材 料
残留熱除去系	低圧原子炉代替注水ポンプ注水ライン合流部 ～ 原子炉压力容器*28, *29	3.92*3	185	355.6	19.0*1	STS42	低圧原子炉代替注水ポンプ注水ライン合流部 ～ 原子炉压力容器*33	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
				/267.4	/15.1*1						
				267.4	12.7*1						
	8.62*3	302	267.4*5	15.1*1, *5	STPT42*5	変更なし		8.98*4	304*4		
			267.4	18.2*1	STS42						
			267.4	18.2*1	STS42						
B-残留熱除去系ストレーナ ～ B-停止時冷却モード入口ライン合流部*34	0.427	104	508.0	15.1*1	STS42	B-残留熱除去系ストレーナ ～ B-停止時冷却モード入口ライン合流部*19	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
			/508.0	/15.1*1							
			/508.0	/15.1*1							
	0.427*3	185	508.0	9.5*7(9.5*1)	SM41C		0.853*4	178*4			
			508.0*5	9.5*1, *5	STPT42*5						
			508.0	9.5*7(9.5*1)	SM41C						
1.37*3	185	508.0*5	9.5*1, *5	STPT42*5	変更なし	変更なし					
		517.6	9.5*7(14.3*1)	SM41C							
B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部 ～ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部*35	3.92*3	185	355.6	15.1*1	STS42	B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部 ～ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部*27	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
B-低圧注水ライン分岐部 ～ B-ドライウェルスプレイライン分岐部*36, *37	3.92*3	185	355.6	15.1*1	STS42	B-低圧注水ライン分岐部 ～ B-ドライウェルスプレイライン分岐部*19	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
			355.6	19.0*1	STS42						
			/355.6	/19.0*1							
B-ドライウェルスプレイライン分岐部 ～ 低圧原子炉代替注水系（可搬型）接続口（西）注水ライン合流部*36, *37	3.92*3	185	355.6	15.1*1	STS42	B-ドライウェルスプレイライン分岐部 ～ 低圧原子炉代替注水系（可搬型）接続口（西）注水ライン合流部*27	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
			355.6*5	19.0*1, *5	STS42*5						

変更前						変更後										
名	称	最高使用	最高使用	外 径*1	厚	材 料	名	称	最高使用	最高使用	外 径*1	厚	材 料			
		圧 力	温 度	(mm)	(mm)				圧 力	温 度	(mm)	(mm)				
残留熱除去系	低圧原子炉代替注水系（可搬型）接続口（西）注水ライン合流部 ～ 原子炉压力容器*36, *37	3.92*3	185	355.6	19.0*1	STS42	低圧原子炉代替注水系（可搬型）接続口（西）注水ライン合流部 ～ 原子炉压力容器*38	変更なし	変更なし	355.6	19.0	19.0	変更なし			
				/355.6	/19.0*1									/355.6	/19.0	
				/-	/-									/216.3	/12.7	
		8.62*3	302	267.4	18.2*1	STS42		変更なし	変更なし	8.98*4	304*4	変更なし	変更なし	変更なし		
				267.4*5	21.4*1, *5										267.4	18.2
															267.4	18.2
	C-残留熱除去系ストレーナ ～ 高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部*39	0.427	104	508.0	15.1*1	STS42	C-残留熱除去系ストレーナ ～ 高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部*40	変更なし	変更なし	0.853*4	178*4	変更なし	変更なし			
				/508.0	/15.1*1									/508.0	/15.1	
				/508.0	/15.1*1									508.0	9.5*1, *5	
		0.427*3	100	508.0	9.5*1, *5	STPT42*5		変更なし	変更なし	120*4	変更なし	116*4	変更なし			
				508.0	9.5*1, *5									508.0	9.5*1, *5	
				517.6	14.3*1									517.6	14.3*1	
高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部 ～ C-残留熱除去ポンプ*39	1.37*3	100	517.6	14.3*1	SM41C	高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部 ～ C-残留熱除去ポンプ*27	変更なし	変更なし	116*4	変更なし						
			508.0	9.5*1							508.0	9.5*1				



変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
—						残留熱除去系	高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部*41, *42		1.37*4	120*4	466.8	<input type="checkbox"/> (14.3*1)	SM41C
											457.2	<input type="checkbox"/> (9.5*1)	SM41C

変更前						変更後								
名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
残留熱除去系	C-残留熱除去ポンプ ～ 原子炉圧力容器	3.92*3	100	355.6	15.1	STS42	残留熱除去系	C-残留熱除去ポンプ ～ 原子炉圧力容器*27	変更なし	変更なし 116*4	変 更 な し			
				355.6*5	19.0*5	STS42*5								
				355.6 /355.6	19.0 /19.0	STS42								
				/-	/-									
				355.6 /267.4	19.0 /15.1	STS42								
	8.62*3	302	267.4	18.2	STS42	変更なし		変更なし	変 更 な し					
			267.4*5	21.4*5	STS42*5	8.98*4		304*4						
	A-原子炉圧力容器注入ライン分岐部 ～ A-格納容器代替スプレイライン合流部*43	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42		A-原子炉圧力容器注入ライン分岐部 ～ A-格納容器代替スプレイライン合流部*44				変 更 な し		
				355.6*5	19.0*5	STS42*5								
	A-格納容器代替スプレイライン合流部 ～ A-ドライウェルスプレイ管*43	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42		A-格納容器代替スプレイライン合流部 ～ A-ドライウェルスプレイ管*44				変 更 な し		

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
—						残留熱除去系	A-格納容器代替ス プレイライン合流 部*41, *45	3.92*4	185*4	77.0	□ (6.7*1)	S25C
										69.3	□ (8.3*1)	S25C

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料
残留熱除去系	B-ドライウェルスプレライン分岐部 ～ B-燃料プール冷却ライン分岐部*46, *47	3.92*3	185	355.6*5	19.0*5	STS42*5	B-ドライウェルスプレライン分岐部 ～ B-燃料プール冷却ライン分岐部*48	変 更 な し			
				355.6	15.1	STS42					
				355.6 /355.6 /216.3*8	19.0 /19.0 /12.7*8	STS42					
	B-燃料プール冷却ライン分岐部 ～ B-サプレッションプール冷却ライン分岐部*46, *47	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	B-燃料プール冷却ライン分岐部 ～ B-サプレッションプール冷却ライン分岐部*48	変 更 な し			
				355.6 /355.6 /267.4	19.0 /19.0 /15.1	STS42					
	B-サプレッションプール冷却ライン分岐部 ～ 残留熱代替除去系原子炉注水ライン分岐部*46, *47	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	B-サプレッションプール冷却ライン分岐部 ～ 残留熱代替除去系原子炉注水ライン分岐部*49	変 更 な し	変 更 な し	355.6 /355.6 /165.2	15.1 /15.1 /11.0
—											

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料
残留熱除去系	残留熱代替除去系原 子炉注水ライン分岐 部 ～ 残留熱代替除去系ス プレイライン分岐部 *46, *47	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	残留熱代替除去系原 子炉注水ライン分岐 部 ～ 残留熱代替除去系ス プレイライン分岐部 *49	変更なし	変更なし		
				—					355.6 /355.6 /165.2	15.1 /15.1 /11.0	STS410
	残留熱代替除去系ス プレイライン分岐部 ～ B-格納容器代替スプ レイライン合流部 *46, *47	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	残留熱代替除去系ス プレイライン分岐部 ～ B-格納容器代替スプ レイライン合流部 *15	変更なし	変更なし		
B-格納容器代替スプ レイライン合流部 ～ B-ドライウェルスプ レイ管*46, *47	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	B-格納容器代替スプ レイライン合流部 ～ B-ドライウェルスプ レイ管*50	変更なし	変更なし			

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
残留熱除去系 B-燃料プール冷却ラ イン分岐部 ～ B-燃料プール冷却ラ イン合流部*8	3.92*3	185	216.3	10.3	STPT42	変 更 な し					

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
—						残留熱除去系	B-格納容器代替ス プレイライン合流 部*41, *51	3.92*4	185*4	77.0	<input type="checkbox"/> (6.7*1)	S25C
										69.3	<input type="checkbox"/> (8.3*1)	S25C





変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
残留熱除去系	A-サプレッション プール冷却ライン 分岐部 ～ A-サプレッション チェンバ内放出管 *54	3.92*3	185	355.6	19.0	STS42	残留熱除去系	A-サプレッション プール冷却ライン 分岐部 ～ A-サプレッション チェンバ内放出管 *55	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
				/267.4	/15.1								
				267.4*5	15.1*5	STPT42*5							
		104	267.4	12.7	STPT42			178*4					
	0.427*3	104	267.4	9.3	STPT42	0.853*4		178*4					
			267.4	9.3									
			/267.4	/9.3	STPT42								
/-			/-										
		267.4*5	9.3*5	STPT42*5									

変更前						変更後											
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料				
残留熱除去系	B-サプレッション プール冷却ライン 分岐部 ～ B-サプレッション チェンバ内放出管 *56	3.92*3	185	267.4	12.7	STPT42	残留熱除去系 *55	B-サプレッション プール冷却ライン 分岐部 ～ B-サプレッション チェンバ内放出管 *55	変更なし	変更なし							
				267.4*5	15.1*5	STPT42*5											
			104	267.4	12.7	STPT42								変更なし	178*4		
				267.4	15.1												
				/-	/-	STPT42											
				/267.4	/15.1												
	0.427*3	104		267.4	9.3		変更なし	0.853*4	178*4	変更なし							
				/267.4	/9.3	STPT42											
				/-	/-												
				267.4	9.3	STPT42											
				267.4*8	9.3*8	STPT410*8											
				267.4*8	9.3*8												
/267.4*8	/9.3*8	STPT410*8															
/-	/-																
267.4*5	9.3*5	STPT42*5															

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記\*1：公称値を示す。

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉再循環系との取合点から A-残留熱除去ポンプまで」と記載

\*3：S I 単位に換算したものである。

\*4：重大事故等時における使用時の値

- \*5 : エルボを示す。
- \*6 : 新たに原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲となる。
- \*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 60 年 4 月 27 日付け 59 資庁第 17250 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-1-4-2-1 管の基本板厚計算書」による。
- \*8 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- \*9 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード，サブレッションプール水冷却モード）））と兼用
- \*10 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（残留熱代替除去系）と兼用
- \*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A-残留熱除去ポンプから A-残留熱除去系熱交換器まで」と記載
- \*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A 系原子炉再循環系戻り管」と記載
- \*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A-残留熱除去系熱交換器から原子炉再循環系との取合点まで」と記載
- \*14 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード，サブレッションプール水冷却モード）））と兼用
- \*15 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード）））と兼用
- \*16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「B-残留熱除去ポンプ入口管」と記載
- \*17 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉再循環系との取合点から A-残留熱除去ポンプまで」の分岐点から B-残留熱除去ポンプまで」と記載
- \*18 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「B-残留熱除去ポンプから B-残留熱除去系熱交換器まで」と記載
- \*19 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード，サブレッションプール水冷却モード）），残留熱代替除去系）と兼用
- \*20 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「B 系原子炉再循環系戻り管」と記載
- \*21 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「B-残留熱除去系熱交換器から原子炉再循環系との取合点まで」と記載
- \*22 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器頂部スプレイ管」と記載

- \*23：記載の適正化を行う。既工事計画書には「A系原子炉再循環系戻り管」の分岐点から原子炉圧力容器頂部まで」と記載
- \*24：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード）））と兼用
- \*25：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サプレッションチェンバから「原子炉再循環系との取合点からA-残留熱除去ポンプまで」の合流点まで」と記載
- \*26：記載の適正化を行う。既工事計画書には「A-残留熱除去ポンプからA-残留熱除去系熱交換器まで」の分岐点から「A系原子炉再循環系戻り管」の合流点まで」と記載
- \*27：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）と兼用
- \*28：記載の適正化を行う。既工事計画書には「A系低圧注入管」と記載
- \*29：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器頂部スプレイ管」の分岐点から原子炉圧力容器まで」と記載
- \*30：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード））、格納容器代替スプレイ系、ペDESTAL代替注水系）と兼用
- \*31：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（格納容器代替スプレイ系、ペDESTAL代替注水系）と兼用
- \*32：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧原子炉代替注水系、残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（格納容器代替スプレイ系、ペDESTAL代替注水系、残留熱代替除去系、低圧原子炉代替注水系）と兼用
- \*33：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧原子炉代替注水系、残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（残留熱代替除去系、低圧原子炉代替注水系）と兼用
- \*34：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サプレッションチェンバから「B-残留熱除去ポンプ入口管」の合流点まで」と記載
- \*35：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B-残留熱除去ポンプからB-残留熱除去系熱交換器まで」の分岐点から「B系原子炉再循環系戻り管」の合流点まで」と記載
- \*36：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系低圧注入管」と記載

- \*37：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系原子炉再循環系戻り管」の分岐点から原子炉圧力容器まで」と記載
- \*38：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧原子炉代替注水系，残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（低圧原子炉代替注水系）と兼用
- \*39：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サプレッションチェンバからC-残留熱除去ポンプまで」と記載
- \*40：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧原子炉代替注水系，残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（高圧原子炉代替注水系）と兼用
- \*41：本設備は既存の設備である。
- \*42：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧原子炉代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（高圧原子炉代替注水系）と兼用
- \*43：記載の適正化を行う。既工事計画書には「A系低圧注入管」の分岐点から原子炉格納容器スプレイヘッドまで」と記載
- \*44：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード)), 格納容器代替スプレイ系，ペDESTAL代替注水系）と兼用
- \*45：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（格納容器代替スプレイ系）と兼用
- \*46：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系原子炉格納容器スプレイ管」と記載
- \*47：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系低圧注入管」の分岐点から原子炉格納容器スプレイヘッドまで」と記載
- \*48：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード，サプレッションプール水冷却モード)), 残留熱代替除去系）と兼用
- \*49：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード)), 残留熱代替除去系）と兼用
- \*50：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード)), 格納容器代替スプレイ系，残留熱代替除去系）と兼用
- \*51：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（格納容器代替スプレイ系，残留熱代替除去系）と兼用
- \*52：記載の適正化を行う。既工事計画書には「A系原子炉再循環系戻り管」の分岐点からサプレッションチェンバスプレイヘッドまで」と記載

- \*53 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系再循環系戻り管」の分岐点からサブプレッションチェンバースプレイヘッドまで」と記載
- \*54 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A系原子炉再循環系戻り管」の分岐点からサブプレッションチェンバ内の放出管まで」と記載
- \*55 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード））と兼用
- \*56 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系原子炉格納容器スプレイ管」の分岐点からサブプレッションチェンバ内の放出管まで」と記載

以下の設備は、既存の原子炉冷却材再循環設備の原子炉再循環系であり、残留熱除去系として本工事計画で兼用する。

常設

原子炉压力容器～停止時冷却モード入口ライン分岐部

停止時冷却モード入口ライン分岐部

停止時冷却モード戻りライン合流部～原子炉压力容器

停止時冷却モード戻りライン合流部

以下の設備は、既存の圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備の原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード））であり、残留熱除去系として本工事計画で兼用する。

常設

A-ドライウェルスプレイ管

B-ドライウェルスプレイ管

サブプレッションチェンバスプレイ管